

ケア・アクションつる

ボランティアグループの紹介

都留市読み聞かせボランティア「こぶたの会」
 ～今あらためて思う、絵本の魅力
 そして読み聞かせの大切さ～

私たち「こぶたの会」は、昨年二月都留市社会福祉協議会が主催した「読み聞かせボランティア養成講座」を受講した仲間同士で「地域の子どもたちに、たくさんのお話のすてきな絵本を読み聞かせて、絵本のもつ魅力や読み聞かせの温かさを伝える事ができたら素敵だね」とそれぞれの思いを出し合い、「まずは始めてみよう」と同年四月に、都留市で初めて絵本の読み聞かせボランティアを発足させました。

現在のメンバーは十名。小学生の子どもを持つお母さんを中心に、大学生から人生の先輩まで、毎回楽しくにぎやかに活動しています。

定期的な活動は、0歳児とお母さんの集い「赤ちゃん広場」に参加しています。ここでは、最近歌われることの少なくなった子守唄の紹介をしたり、赤ちゃんとお母さんのコミュニケーションに有効な手遊びなどを紹介したりしています。また、赤ちゃんが最初に出会う絵本や、子育てで大変なお母さんたちに癒しとなる本の紹介など、毎回工夫を凝らしています。

また、今年の二月十八日(日)には、子供読書推進ネットワーク開発事業として大月市民会館で開催された「図書館ボランティアの集い」、四月二十二日(日)には、忍野図書館からの参加依頼を受け、忍野ふれあいホールで開催された「忍野図書館十周年記念行事」など大きなイベントにも参加しています。大きな会場は初めてで、皆不安いっぱいでしたが、チャレンジ精神旺盛のメンバーは「とにかくがんばろう」と持てる力をすべて出し合って、大型ペープサウト「あなにおちたぞう」を作り上げ、上演しました。どちらの会場でも、見に来た皆さんに大変喜んで頂き、私たちも嬉しく満足感と充実感でいっぱいになりました。

また、三月二十四日(土)に開催された「第一回都留市ボランティアまつり」にも参加し、読み聞かせコーナーで「三匹のこぶた」のパネルシアターと紙芝居を上演し、大勢の子どもたちに喜んでいただきました。

まだまだ勉強不足な点は多々ありますが、自分たちの思いを大切に、地域の中で活動する場を徐々に増やし、多くの皆さんに絵本の持つ魅力と読み聞かせの大切さを伝え感動して頂けるようがんばって活動していきたいと思っています。

※現在、私たちの活動の場を募集しています。幼稚園、保育園、子ども会、病院の待合室、老人ホームなど、お役に立てる場があれば教えてください。

私たちが一緒に読み聞かせをしてみませんか？

活動日 基本的に第二、第四金曜日
 午後一時三十分～三時三十分
 場所 いきいきプラザ都留一階 ボランティア活動室
 問合せ

代表 小松かおり ☎(46) 41311
 都留市社会福祉協議会 ☎(46) 51115 担当 森嶋



介護情報 介護相談コーナー Q&A



要介護3の父と同居中ですが、日中主人の経営する工場で働いているため、おむつ交換など思うように介護ができず、毎日2回ヘルパーさんに来てもらっています。最近、寝だこができたので病院で診察してもらったところ、先生から毎日消毒をするように言われました。仕事が忙しく毎日消毒が思うようにできず、これ以上寝だこがひどくならないか心配ですがどうしたらよいでしょうか。

この方のように寝だこができてしまった場合、訪問看護婦に定期的に来てもらうのがよいでしょう。消毒という医療的な処置と併せて、栄養状態が悪くなると寝だこができやすくなるため栄養状態の観察をしてもらいましょう。
 また、寝だこの悪化予防のために介護方法の指導をうけることをお勧めします。現在の訪問介護と組み合わせて次のようなプランを立ててみました。



曜日	月	火	水	木	金	土	日
午前							
午後							



訪問看護の様子

訪問看護婦はこのほかにも、日常の健康チェック、食事のためのチューブの管理、尿を取るためのチューブの管理、在宅酸素の管理、点滴の管理などの療養生活を状況に合わせて援助します。
 問合せ 都留市在宅介護支援センター ☎(46)5114